

平成 18 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 住 友 倉 庫
代 表 者 名 社 長 安 部 正 一
(コード番号 9303 東証・大証第 1 部)
問 合 せ 先 プロジェクト室長 藤 村 成 一
(TEL. 06-6581-1186)

オムロン株式会社と合弁事業に関する基本合意のお知らせ

本日、当社とオムロン株式会社（以下、オムロン）は、オムロンの物流子会社であるオムロンロジスティッククリエイツ株式会社（以下、OLC）の株式 882 株（発行済株式数の 49%）を当社が譲受け、OLC を合弁事業会社とすることに基本合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁事業の目的

オムロングループは、顧客満足度を高め、競合他社との優位性を一層確かなものとするため、グローバルベースで物流のサプライチェーンマネジメント（SCM）改革を進めています。その中で、今般、OLC をオムロングループに対する商品物流に特化した専門機能会社に改め、これまで培ってきた多品種少量物流ノウハウに加えて、当社との合弁によりグローバル機能を充実し、グループ全体の物流機能の強化を図ることにいたしました。

一方、当社グループは長年、国際総合物流企業として事業を展開し、サプライチェーン全体の在庫管理能力、豊富な国内外の物流インフラ、グローバルな物流の構築・運営能力に強みを発揮しています。特に、今般中国では新たな現地法人を設立すると同時に倉庫建設にも着手して配送センター業務の強化に努めるなど、中国や東南アジアを中心に物流事業の業容拡大を図っています。

この合弁事業を通じ、オムロングループは顧客へより一層質の高いグローバル物流サービスを提供することにより、顧客満足度の向上に努めます。当社グループは、オムロングループとの関係を深めることにより、物流事業の一層の拡大を図ります。今後ともオムロングループとの信頼関係をより強固なものとし、相互の企業価値向上を目指します。

2. OLC の概要

- (1) 商 号：オムロンロジスティッククリエイツ株式会社
株式譲受後、オムロン住倉ロジスティック株式会社(仮称)に変更予定
- (2) 設立年月日：平成 9 年 2 月 21 日
- (3) 事業内容：オムロン製品の国内外の輸配送、輸出入業務、物流拠点の运营管理、輸入製品の検査代行ほか

(4) 本店所在地：大阪市北区堂島一丁目6番20号

(5) 資本金の額：90百万円

(6) 社 長：近藤雅文

(7) 大株主構成および持株比率：

	オムロン		当 社	
	所有株式数	所有株式数の割合	所有株式数	所有株式数の割合
株式譲受前	1,800株	100.0%	—	—
株式譲受後	918株	51.0%	882株	49.0%

(8) 売 上 高：平成18年度予想 約130億円

平成19年度予想 約120億円

3. オムロンの概要（平成18年3月末日現在）

(1) 商 号：オムロン株式会社

(2) 事 業 内 容：電気機械器具、電子応用機械器具、精密機械器具、医療用機械器具、
その他一般機械器具の製造・販売およびこれらに付帯する業務

(3) 設立年月日：昭和23年5月19日

(4) 本店所在地：京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地

(5) 代 表 者：取締役社長 作田久男

(6) 資本金の額：64,100百万円

(7) 従 業 員 数：5,280人

(8) 大株主構成および持株比率：

株 主 の 名 称	所有株式数	所有株式数の割合
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	16,787千株	6.74%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	13,102千株	5.26%
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,713千株	3.10%
日本生命保険相互会社	6,066千株	2.44%
株式会社京都銀行	5,717千株	2.30%

(9) 当社との関係：資本関係など特になし

4. 今後の日程

平成19年4月1日（予定） 合弁契約締結、株式譲渡契約締結

5. 業績に与える影響

今回の基本合意による今期の当社連結および単独の業績に与える影響は軽微です。

以 上